

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2017年度 事業報告書

<2017年4月1日～2018年3月31日>

The logo consists of the letters 'ATP' in a bold, black, sans-serif font. The 'A' is stylized with a diagonal slash on its left side. The 'T' and 'P' are solid and blocky.

目次

●	<u>2017年度総括</u>	<u>p. 1</u>
●	<u>役員名簿</u>	<u>p. 2</u>
●	<u>組織戦略センター報告</u>	<u>p. 3</u>
	1. 財政基盤の安定化	
	2. 経営情報アンケートの実施	
	3. 制作者の連携を促進	
	4. 広報発信と省庁へのアピール	
●	<u>メディアセンター報告</u>	<u>p. 3</u>
	1. 「ATPの主張」を通じた製作取引の適正化キャンペーン	
	2. 放送事業者には公正な取引を求める	
	3. メディア委員会の活性化で制作力の強化を	
	4. 「働き方改革」の実施に当たって ～ATPの考え～ 各局訪問	
●	<u>事業センター報告</u>	<u>p. 4</u>
	1. 『第33回ATP賞』受賞式	
	2. 1) テレビ番組製作会社合同就職フェス2018	
	2) テレビクリエイターズフェス2019	
	3) 『ATP合同新人研修セミナー』	
	4) インターンシップ	
	3. 各センター横断的事業・Kプロジェクト(海外展開)	
	4. 第6回ATP若手映画プロジェクト	
●	<u>関西センター報告</u>	<u>p. 6</u>
	1. 第5回関西ATP賞実施及び関西新春交流会の開催	
	2. テレビ番組製作会社合同就職フェス2018大阪	
	3. 関西協議会の開催	
	4. 関西各局訪問	
●	<u>2017年度活動記録</u>	<u>p. 7</u>
●	<u>その他</u>	<u>p. 15</u>

【2017 年度総括】

ATP の事業は内容、予算とも年度当初に策定した年間計画通りに達成することができました。まずは、会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事ならびに各プロジェクトの実行委員各位の熱意と努力の賜物と深く感謝を申し上げる次第です。

会員各社に向けた 2017 年度の「経営情報アンケート」では製作会社の「微減収・増益」が明らかになりました。製作会社の番組製作に見合っていない番組制作費の現状を反映しながらも、経営努力によって収益を確保したと言える結果です。番組発注における制作費のあり方は同アンケートにおける「働き方改革」の問題点について加盟各社が指摘しているように、製作スタッフの過重労働の主原因となっていることから、ATP は各放送事業者に対して適正な制作費への対応と経営実態に即した制作管理費の設定を申し出ています。

「働き方改革」は放送事業者各社も取り組んでいる最中ではありますが、私たちにとっては「番組作り改革」と捉え、良質なコンテンツ製作を保証するための適正な労働環境を確保していくことが喫緊の課題と考えています。

また、テレビ番組製作会社合同就職フェス 2018 に見られるように参加学生の減少傾向に加えて優秀な新人の確保は困難な状況にあり、製作会社の将来を揺るがす切実な問題となっています。かれらが安心して働くことができる労働環境の健全化はここでも欠かせない対応策であり、テレビクリエイターズフェスを中心に製作会社の番組が意欲ある学生の就職動機を刺激するアピールの発信が必要と考えます。

ATP の看板事業ともいえる「ATP 賞テレビグランプリ」、そして「Tokyo Docs」は製作会社制作者にとってコンテンツ製作のモチベーション喚起の機会となっていることは言を俟たないものですが、より広範に対外的な認知を拡大していく努力を続けていかなければならないと考えます。

最後に、一昨年 ATP が作成した「ATP の主張」は、総務省、民放連等との議論で継続的に提示されており、コンテンツ製作における責任の明確化とそれに付随する諸権利の適正化をめざす製作会社の本来的なあり方を表明していることを報告させていただきます。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 倉内 均

【役員名簿】

2017年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった

《所属会社、役職は2017年6月当時》

氏名	所属社名	役職	
倉内 均	(株)アマゾンラテルナ	取締役会長	理事長
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	役員待遇 エグゼクティブプロデューサー	副理事長
矢島 良彰	(株)テムジン	取締役CEO	副理事長
金澤 宏次	ユニオン映画(株)	代表取締役社長	副理事長
長谷川 豊	(株)レジスタ X1	代表取締役	副理事長
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事・組織戦略センター長
清水 哲也	(株)ドキュメンタリージャパン	代表取締役	理事・メディアセンター長
相川 弘隆	(株)いまじん	代表取締役社長	理事・事業センター長
森田 道明	(株)ジェイワークス	代表取締役	理事・関西センター長
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
音 好宏	上智大学新聞学科	教授	理事
武井 泉	(株)東阪企画	代表取締役社長	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	代表取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレパック	取締役	理事
林 健嗣	(株)《a》	代表取締役社長	理事
水野 伸宏	(株)クラッチ.	代表取締役	理事
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	取締役	理事
吉村 文雄	東映(株)	コンテンツ事業部長	理事
三門 健一郎	ATP 事務局常勤		常務理事
徳永 一彦	(株)メディア・バスターズ	会長	監事
中尾 幸男	(株)テレパック	ゼネラルプロデューサー	監事・顧問
澤田 隆治	(株)テレビランド	代表取締役社長	顧問
静永 純一	(株)CN インターボイス	取締役会長	顧問
工藤 英博	(株)PDS	代表取締役	顧問
内藤 昭浩	ATP 事務局	事務局長	

【事業報告】

＜組織戦略センター＞ センター長 福浦与一

1. 財政基盤の安定化

「独立採算型」による事業運営は、当年度も継続して実施いたしました。その結果、大幅な赤字となった事業はなく、「合同就職フェス」「Tokyo Docs」などの主要事業は、クオリティを維持したまま開催することができました。「ATP 賞」については、前回の募集期間1年半から通常の1年となり、応募本数の減少により大幅ではありませんが、赤字となりました。収入増に繋げる対策や運営面での効率化など今後の検討課題と致します。正会員と賛助会員の拡大による収入増と支出抑制策については、引き続き次年度継続と致します。

2. 経営情報アンケートの実施

6月～7月にかけて全会員社を対象に「経営情報アンケート」を実施し、10月に集計結果と分析報告を各社代表者宛に送付いたしました。各社の総売上と経常利益の平均値については「微減収・増益」となりましたが、適正な制作費が確保できない状況の中で、支出管理を強化している姿が見て取れる結果となりました。今回の調査では、政府が進めている「働き方改革」に関する意見集約を行いました。大半の社が制作費との関連を指摘しており、ほぼ認識が一致する結果となりました。

3. 制作者の連携を促進

国内外の制作者との連携を深める試みとして、韓国インディペンデントプロデューサー協会（KIPDA）との協議会を11月30日（木）に開催致しました。KIPDA側からは、ソ・ミノン代表を筆頭にプロデューサーを中心に総勢21名の出席、ATPからは、倉内理事長を筆頭に13名が出席をしました。冒頭、ATP 倉内理事長 KIPDA ソ・ミノン代表の挨拶、両団体の紹介。その後は、著作権の帰属や制作費について意見交換、団体への入会資格、韓国国内の映像関係団体などの情報交換を行いました。最後に KIPDA 側より両団体の交流を目的としての「放送コンテンツ制作活性化のための業務協力協約書（案）」締結の提案がありました。ATP 理事会で充分議論をした上で今後の対応を検討して行く事になりました。会場費、配布資料の印刷費、親睦会費用などについては、Kプロ予算を活用致しました。

また、10月30日（月）～11月2日に韓国仁川で開催された第12回アジアドラマカンファレンスには、ATP から14名が参加。往復の渡航費については、J-LOP4の助成金（半額）とKプロ予算から捻出しております。

4. 広報発信と省庁へのアピール

「ATP 賞」受賞式当日の記者懇談会を通じた情報発信を行いました。当日は「ATP 賞」に関する情報をメインに ATP 若手映画プロジェクトの進捗など ATP 事業活動に関わる情報の発信や「放送コンテンツ適正取引推進協議会」についても広く周知を行いました。

＜メディアセンター＞ センター長 清水哲也

1. 「ATP の主張」を通じた製作取引の適正化キャンペーン

今年度は具体的なキャンペーンの実施はなりませんでした。働き方改革や新年表敬訪問の際に「ATP の主張」を持参し、改めての周知やお願いをしました。又、総務省「放送

コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」や「放送コンテンツ適正取引推進協議会」の場などで周知を行いました。次年度は改めて具体的キャンペーンの計画を立てより一層の周知、理解に努めて行きたいと考えています。

2. 放送事業者には公正な取引を求める

放送コンテンツの二次利用の進展に対応する為、放送コンテンツの適正な製作取引の確保がますます重要となっています。そこで民間主体の対話・情報共有の場が必要との共通認識のもと、放送事業者、番組製作者それぞれの主要7団体と学識経験者の参加と総務省の支援を得て、2017年6月に「放送コンテンツ適正取引推進協議会」を設立しました。下請法に関する協議会マニュアルを策定中で、次年度以降、研修会の開催など関係各位に周知を進めて行く予定です。

3. メディア委員会の活性化で制作力の強化を

今年度は、上記テーマの基、全4回のメディア委員会を開催し、周知、共有に努めました。開催日、講師等は、2017年度活動記録に記載。

第22回1部「放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」中間報告書案

2部「下請法に守られた制作会社が、下請法を守らねばならないとき!?!」

第23回「業界は労働時間の改革ができるのか?～いま問われる番組製作会社の労務課題～」

第24回「弁護士に聞く、下請法により番組製作会社が親事業者になる場合のケーススタディ」

第25回「番組製作会社が主導する国際共同製作とは!?!～Tokyo Docs 7年間の総括を含めて～」

4. 「働き方改革」の実施に当たって ～ATPの考え～ 各局訪問

ATPでは昨年6月に、「働き方改革」の一環としてアンケート調査を実施しました。

その結果、法定時間外労働時間の全社平均が、一般的に言われている過労死ラインの

「80時間」近くになっており、制作現場の過酷さが改めて明らかになりました。

こうした調査結果を踏まえ、東京、大阪の放送事業者を訪問し、下記7項目についてご理解・ご協力をお願いにあがりました。本件に関しては、引き続き継続課題として協議の場を設定いただく事になっております。

1. 制作人件費の適正な増額を 2. 撮影、編集、ポスプロ日数の増加を

3. 制作実態に即した制作費の決定 4. プレビュー時間の改善

5. 余裕のある制作日程を 6. 適正な制作管理費の実現を

7. 「ATPの主張」へのご理解を

<事業センター> センター長 相川弘隆

1. 『第33回ATP賞』受賞式

「第33回ATP賞テレビグランプリ」の受賞式典を7月14日(金)六本木のハリウッドホールにて開催しました。式典冒頭、総務省奈良俊哉大臣官房審議官、日本放送協会菅康弘放送総局副総局長、日本民間放送連盟青木常務理事よりご祝辞を頂戴しました。応募総数は、152作品。栄えあるグランプリは、「BS1スペシャル 原爆救護 ～被爆した兵士の歲月～」(製作:テムジン/放送:NHK BS1)が選出されました。最優秀新人賞には、「土曜ド

ラマ 24 銀と金」(放送：テレビ東京、配信：Amazon プライム・ビデオ) をプロデュースした大映テレビの北川俊樹さんが選ばれました。

2. テレビ番組製作会社合同就職フェス 2018 テレビクリエイターズフェス 2019

人材育成・専門領域セミナー、インターンシップ

1) テレビ番組製作会社合同就職フェス 2018

会場については、長年使用していたマイナビルームから品川インターシティへ変更し、面談時間も全社同時時間帯とし、出展各社への面談予約は、当日会場での予約から事前 WEB 予約へ変更しました。その結果、参加学生数は前年の 1,231 名から 945 名へ大幅減となりました。事前の WEB での面談予約などエントリーシステムの変更が学生にわかりづらく、参加率の低下に繋がったものと考えられます。次年度については、開催時期、開催会場について早期に決定をして行きたいと思えます。

2) テレビクリエイターズフェス 2019

少しでも早い時期に就職意欲の高い優秀な人材の集客、確保を目的に、開催時期を 4 月中旬から 3 月の開催へ変更致しました。会場も若者の集う秋葉原へ変更し、面談予約についても従来までの当日会場予約に変更、マイナビとの共催で半日インターンシップと称したテレビクリエイターズインターンシップを 12 月～2 月までの間に 4 回開催しました。その結果、エントリー数は前年に及ばなかったもの、参加者、参加率は前回は大幅に上回りました。エントリー数は 1,268 参加者数 1002 名 参加率 79.0% となりました。引き続き次年度に向けての準備を早期に進めて行きたいと考えています。

3) 『ATP 合同新人研修セミナー』

参加者が 167 名(昨年より 33 名増)の過去最高となりました。研修では、社会人としての基本である「マナー研修」や制作者としての肝となる「企画の立て方」、放送倫理に関する「コンプライアンス研修」など充実した研修内容となりました。ここ数年参加者が右肩上がりが増え、現状の会場については、手狭になっています。次年度の会場選定については、場所、日程を早めに決定したいと考えています。

4) インターンシップ

8 月から 9 月にかけて、参加会社 21 社(東京 21 社:大阪 0 社)、参加学生 45 名にて ATP サマーインターンシップ 2017 を実施しました。事前説明会への参加学生 210 名、インターンシップへの応募学生は、67 名となりましたが、受入社数(前年 17 社から 21 社) 受入枠数(前年 49 枠から 51 枠) 共に増となりました。

3. 各センター横断的事業・K プロジェクト (海外展開)

1) 国際コンテンツ・マーケットでの「新事業案」

海外マーケットにおける「新事業案」の是非について、全会員社に向けたアンケート調査を実施し、判断する事としておりましたが、今年度は実現の運びとなりませんでした。引き続き次年度に向けての継続事項と致します。現状、国際コンテンツ・マーケットについては、代理店として東映(株)様が ATP 会員社の希望があれば、保有するコンテンツを非独占で展開いただける事になっております。

2) 『第 12 回アジアドラマカンファレンス 2017』

「第12回アジアドラマカンファレンス2017」（主催：KOFICE 韓国文化産業交流財団、AIE九州・地域企業連合会九州連携機構、ATP全日本テレビ番組製作社連盟）が、10月30日（月）～11月2日韓国仁川の会場で開催されました。ATPからは、倉内理事長を団長とする総勢14名で参加致しました。日中韓をはじめ東南アジア諸国、非アジア（英米圏等）から、第一線で活躍する脚本家、ドラマ製作者、コンテンツ事業プロデューサーらが参加。ビジネスミーティング(BtoB)では、7件の商談を行い、最終日には、ドラマ撮影候補地の視察を行いました。

4. 第6回 ATP 若手映画プロジェクト

企画募集については、2017年4月より開始、5月末の締切りで周知を行いました。その結果、今年度は、応募企画がなく、「該当なし」となりました。次回以降については、事業センターで総括の上、実施の有無について判断する事になりました。

<関西センター> センター長 森田道明

1. 第5回関西 ATP 賞実施及び関西新春交流会の開催

第5回関西 ATP 賞の受賞式は、関西新春交流会を兼ねて2018年1月23日（火）リッツ・カールトン大阪にて開催しました。ATP関西会員社の投票により決定するグランプリには、『〇〇に10万円あげたらこんな使い方されちゃいました！3』

（製作会社：レジスタエックスワン 放送局：CBCテレビ）が輝きました。新設の最優秀新人賞については、新人賞3名の中から、関西会員社の投票によって「高野有里」さん（メディアプルポ）が選出されました。

2. テレビ番組製作会社合同就職フェス2018 大阪

マイナビでの周知、エントリーと合わせて在阪放送局が参画する「クリ博ナビ2018 就活直前セミナーin 京都」に前年に引き続き参加し、学生への周知を図りました。エントリー数（605名→594名）は、前年度より微減でしたが、参加人数（401名→304名）が100名近い減少となりました。出展社については東京からの出展社が増え、14社から18社となりました。参加者の減少を含めて開催時期、会場選定など検証の上、次年度に向けての対応を進めて行く予定です。

3. 関西協議会の開催

関西 ATP 会員社による関西協議会を10月13日（金）新梅田研修センターで開催しました。協議会では、(1)働き方改革に関するアンケートについて、(2)「在阪製作会社の現状」アンケートについて、(3)関西 ATP 賞について議論を行いました。上記(1)、(2)のアンケートについては、集計結果をもとに在阪各局を訪問し、製作会社の現状について理解を求めることになりました。関西 ATP 賞については、第5回の節目をむかえ、次回以降の開催について関西会員社へのアンケートを実施、意見集約の上、総括を行うことになりました。

4. 関西各局訪問

関西センターとして在阪各局との協議を進めて行くにあたり、ATP関西会員社および未加盟社に向け、在阪製作会社の現状アンケートを実施致しました。今年度は、アンケート

結果をもとに各局への訪問を行い、製作会社の現状についての理解を求めました。次年度以降、個別の課題について協議を進めて行く予定です。

【2017年度活動記録】※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

2017年4月

●ATP合同新人研修セミナー

開催日：4月6日(木)～4月7日(金)

会場：虎ノ門ツインビルディングカンファレンスホール B1F

参加者：167名（男性：86名、女性：81名）社数32社

【1日目】

研修ガイダンス ATP事務局長 内藤昭浩

クリエイターの心得 講師：ATP事業センター長 相川弘隆

ATPの主張 講師：ATPメディアセンター執行理事 松村俊二

研修①『テレビ番組が出来るまで』講師：日テレアックスオン常務取締役 長浜薫

研修②『マナー研修』講師：オフィス・グランツ 代表取締役 井原恵津子

講演Ⅰ『テレビ業界を楽しむために！』

講師：クオリア・マネージメント 代表取締役 金森直哉

懇親会

【2日目】

研修③：『コンプライアンス研修』

講師：ATP副理事長 金澤宏次

講師：日本テレビ放送網 コンプライアンス推進室考査部次長 佐々木尚

講師：日本テレビ放送網 コンプライアンス推進室法務部 後藤俊哉

研修④：『企画が出来るまで』 講師：ジッピー・プロダクション 千葉龍

講演Ⅱ：『テレビ制作者の心構え』

講師：映画監督・テレビディレクター/BPO倫理放送委員会委員長代行 是枝裕和

スタッフ座談会

(パオネットワーク) 内島悠介、(千代田ラフト) 郡航、(えすと) 竹田爽輝

(いまじん) 須藤亜麻音、(テレビマンユニオン) 久保枝里紗、

(テレパック) 零石瑞穂、(ガスコインカンパニー) 大須賀良

(ジャンプコーポレーション) 春木あずみ

●テレビ番組製作会社合同就職フェス 2018 東京 ※ () 内は前年実績

開催日：4月14日(金)～15日(土) 会場：品川インターシティホール

参加者：945名(1,231名) 14日469名/15日479名

エントリー数：1,643名(1,674名) 14日809名/15日834名

参加会社：48社(40社)

●テレビ番組製作会社合同就職フェス 2018 大阪 ※ () 内は前年実績

開催日：4月22日(土) 会場：梅田スカイビル「アウラホール」

参加人数：304名(401名) エントリー数：594名(605名)、

参加会社：18社(14社)

●Master Class 2017 第1回講義 4月27日(木)17:00-18:00

場所：ATP事務局内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。各企画提案者の紹介、企画の概要説明など。

講師：Antje Boehmert アンティエ・バーメルト(DOCDAYS)

受講生：合津貴雄(東京ビデオセンター)、竹岡寛俊(アマゾンラテルナ)、大西達也

2017年5月

●Master Class 2017 第2回講義 5月17日(水)16:00-18:00

場所：ATP事務局内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。企画のセールスポイントなど。

講師：Antje Boehmert アンティエ・バーメルト(DOCDAYS)

受講生：合津貴雄(東京ビデオセンター)、竹岡寛俊(アマゾンラテルナ)、大西達也

●第22回メディア委員会 5月30日(火) 18:00-21:00

場所：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT店 2階 中ホール

内容：

第1部 日本脚本家連盟再放送使用料改訂について/テレビ東京協議報告

第2部 総務省「放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」
中間報告書(案)

報告 望月俊晴(総務省 情報流通行政局 コンテンツ振興課

放送コンテンツ海外流通推進室 専門職)

第3部 「下請法に守られた製作会社が、下請法を守らねばならないとき!」講座

講師 熊谷勝(公正取引委員会事務局 取引部 企業取引課 課長補佐)

土田真人(公正取引委員会事務局 取引部 企業取引課 課長補佐)

参加：34社70名

2017年6月

●第2回企画開発セッション 6月7日(水)17:00-20:30

場所：味覚糖 UHA 館 TKP 溜池山王カンファレンスセンター4A

内容：

第1部「Hot Docs 2017 報告」

報告 田嶋敦(東京ビデオセンター/チーフプロデューサー)

塩原史子(塩原総合事務所/プロデューサー)

中村佑子(テレビマニユニオン/監督),川畑耕平(パオネットワーク/ディレクター)

第2部「ラーメンヘッズ上映報告」

報告 大島新(netzgen/プロデューサー),鎌田雄介(プロデューサー)

参加：35名

●Master Class 2017 第3回講義 6月17日(土)

場所：Sunny Side of the Doc(フランス)の会議室

内容：企画のブラッシュアップ。他の提案者からのフィードバックなど。

講師：Antje Boehmert アンティエ・バーメルト(DOCDAYS)

受講生：合津貴雄(東京ビデオセンター)、竹岡寛俊(アマゾンラテルナ)、大西達也

2017年7月

●第33回ATP賞テレビグランプリ 受賞式

日時：7月14日(金)16:00~18:00

会場：六本木ハリウッドホール

来場者数：450人

[グランプリ]

ドキュメンタリー部門

「BS1 スペシャル 原爆救護 ～被爆した兵士の歳月～」(テムジン/NHK BS1)

[最優秀賞]

ドラマ部門

プレミアムドラマ 奇跡の人(日テレ アックスオン/NHK BS プレミアム)

情報・バラエティ部門

ザ・カラオケバトル U-18 歌うま大甲子園 春の3時間 SP (IVS テレビ制作/テレビ東京)

[最優秀新人賞]

北川俊樹(大映テレビ)

「土曜ドラマ 24 銀と金」(放送：テレビ東京、配信：Amazon プライム・ビデオ)

◇第33回 ATP賞 審査委員(五十音順)

審査委員長 福浦与一(IVS テレビ制作)

審査委員

[ドキュメンタリー部門]

大久保徳宏(東阪企画)、千野克彦(フリー)、稲垣綾子(パオネットワーク)

[情報・バラエティ部門]

荻原伸之(ジッピー・プロダクション)、大野光浩(えすと)、川端鉄也(いまじん)

[ドラマ部門]

鈴木俊明(ホリプロ)、高橋萬彦(共同テレビ)、沼田通嗣(テレパック)

[特別賞・非放送系コンテンツ部門]

品田英雄(日経エンタテインメント)、林健嗣(㈱《a》)、吉村文雄(東映)

[新人賞]

審査委員長 沼田通嗣(テレパック)

審査委員

佐野奈緒子(大映テレビ)、井上啓子(クリエイティブネクス)、佐々木英敏(シオン)

[総務大臣賞]

審査委員長 林健嗣(㈱《a》)

審査委員 内山隆(青山学院大学)、長谷川朋子(放送ジャーナル社)

佐藤幹夫(NHK エンタープライズ)、木下勢治(アマゾンラテルナ)

●第23回メディア委員会 7月5日(水) 18:00-20:30

場所：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 5階 小ホール

内容：「業界は労働時間の改革ができるのか?～いま問われる番組製作会社の労務課題～」

講師：森 紀男 氏(株式会社スタッフコンサルティング 代表)

参加：43社 80名

●第3回企画開発セッション 7月11日(火)17:30-20:45

場所：味覚糖 UHA 館 TKP 溜池山王カンファレンスセンター 4A

内容：

第1部「Hot Docs 2017 報告」

報告 松井至 (テムジン・ディレクター)、平野まゆ (テムジン・プロデューサー)

第2部「ショート・ドキュメンタリー企画募集説明」

報告 菅野誠 (テレコムスタッフ・プロデューサー)、佐々木伸之 (東京ビデオセンター・プロデューサー)

参加：31名

2017年8月

●ATP サマーインターシップ 2017

実施期間：8月1日(火)～9月30日(土)

参加：17大学(東京17：大阪0)、21会社(東京21：大阪0)

受入枠数：51名(東京51：大阪0)、学生：応募67名、参加49名(東京49：大阪0)

●Master Class 2017 第4回講義 8月1日(火)15:00-17:00

場所：ATP事務局内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。前回講義からの進捗状況の確認。

講師：Antje Boehmert アンティエ・ペーメルト(DOCDAYS)

受講生：合津貴雄(東京ビデオセンター)、竹岡寛俊(アマゾンラテルナ)、大西達也

2017年10月

●Tokyo Docs Night 山形国際ドキュメンタリー映画祭 10月6日(金)19:00-23:00

場所：ブルーノ(山形県)

内容：国際共同製作の魅力についてのトークセッション。

登壇：天城鞆彦(Tokyo Docs)、松井至(テムジン)

参加：75名

●『働き方改革』日本テレビ訪問 10月13日(金)

●関西協議会

日時：2017年10月13日(金)16:00～18:00

会場：新梅田研修センター 「503号室」

議案：「働き方改革」に関するアンケートについて、「在阪製作会社の現状」アンケートについて

第5回関西ATP賞について

●『働き方改革』TBS訪問 10月16日(月)

●『働き方改革』フジテレビ訪問 10月17日(火)

●第24回メディア委員会 10月16日(月) 18時00分～20時30分

場所：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT店 5階 小ホール

内容：「弁護士に聞く、下請法により番組製作会社が親事業者になる場合のケーススタディ」

講師：高田伸一氏(Field-R法律事務所)、福地研志氏(Field-R法律事務所)

参加：24社45名

●『働き方改革』NHK訪問 10月20日(金)

●Tokyo Docs × NHK 共催 国際番組展開セミナー 10月20日(金)16:00-19:00

場所：千代田放送会館 2Fホール

講師：Antje Boehmert アンティエ・ペーメルト(DOCDAYS)

参加：23名

●事前ピッチ演習 10月20日(金)10:00-14:30

場所：ATP事務局内会議室

講師：Antje Boehmert アンティエ・ベームルト(DOCDAYS)

参加：4 企画

●事前ピッチ演習 10月21日(土)10:00-18:00

場所：ATP 事務局内会議室

講師：Antje Boehmert アンティエ・ベームルト(DOCDAYS)

参加：8 企画

●『働き方改革』テレビ東京訪問 10月25日(水)

●上智大学上映会 10月29日(日)14:00-17:00

場所：上智大学6号館 ソフィアタワー101 教室

登壇：音好宏(上智大学)、合津貴雄(東京ビデオセンター)、Herbert Hunger ハーバート・ハンガー

内容：「格闘ゲームに生きる」の上映と、トークセッション

参加：85名

●『働き方改革』テレビ朝日訪問 10月30日(月)

2017年11月

●ドキュ・メント 11月4日(土)10:00-12:00/14:30-16:00

場所：レンタルスペース松本

内容：Tokyo Docs Colors of Asia 上映&トーク。

登壇：Dipesh Kharel ディペッシュ・カレル(ネパール)、Ishani Dutta イシャニ・ドウッタ(インド)

Sein Lyan Tun セイン・リアン・トゥン(ミャンマー)

Wisunu Suruya Pratama ウィスヌ・スルヤ・プラタマ(インドネシア)

●Tokyo Docs 2017

会期：11月5日(日)～8日

会場：上智大学6号館 ソフィアタワー101 教室(千代田区紀尾井町7-1)／

JA 共済ビル カンファレンスホール(千代田区平河町2-7-9)

主催：(一社)ATP／(特非)東京 TV フォーラム

参加：海外ディシジョン・メーカー29名(13か国地域)

国内ディシジョン・メーカー13名

アジアフィルムメーカー25名(13か国地域)

一般来場約1,700(4日間延べ)

【11月5日(日)Tokyo Docs 2017 第1日目 アジアデー】

・パネル・ディスカッション Colors of Asia 2017 成果発表会

・Colors of Asia 2018 提案会議

・ディシジョン・メーカーによるプレゼンテーション

・ネットワーク・ミーティング

・オープニング・パーティー

【11月6日(月)Tokyo Docs 2017 第2日目】

・ピッチング・セッション 9 企画

司会：今村研一(NHK エンタープライズ)、平野まゆ(テムジン)

・個別ミーティング

・ワークショップ1 「おクジラさまふたつの正義の物語」完成への道のりを監督が語る

登壇：佐々木芽生(監督)

司会：下温湯健(Tokyo Docs)

- ・ワークショップ2 中国 ドキュメンタリー配信の新しい動き

登壇：Leh Chyun LIN 林樂群(CNEX)、Bob JIN 金輝(Tencent)、Carly LEE 李旒(bilibili)

司会：今村研一(Tokyo Docs)

【11月7日(火)Tokyo Docs 2017 第3日目】

- ・ピッチング・セッション 10 企画

司会：今村研一(NHK エンタープライズ)、Leh Chyun LIN 林樂群(CNEX)

- ・個別ミーティング

- ・ワークショップ3 「Dolphin Man」 国際共同製作の舞台裏

登壇：内野敦史(WOWOW)、セドリック・ボナン(VR プロデューサー)、加藤成子(Tokyo Docs)

司会：下温湯健(Tokyo Docs)

- ・ワークショップ4 ドキュメンタリーの国際展開・最新事情

登壇：Catherine LECLEF カトリーヌ・ルクレ(CAT&Docs)

Matt Perkins マット・パーキンス(TVF International)

Heidi Tao Yang ハイディ・タオ・ヤン(Hot Docs)

司会：藤岡朝子(Tokyo Docs)

【11月8日(水)Tokyo Docs 2017 第4日目】

- ・ショート・ドキュメンタリー・ショーケース インTRODクシヨン

司会：平野まゆ(テムジン)、菅野誠(テレコムスタッフ)

- ・ショート・ドキュメンタリー・ショーケース 上映会

- ・ショート・ドキュメンタリー・ショーケース ネットワーク・ミーティング

- ・Colors of Asia 2017 上映会

- ・フォローアップのためのエキスパートとの個別相談会

【Tokyo Docs 2017 受賞企画一覧】

- ・最優秀企画賞：2 企画

「冷凍された希望」ペイリン・ロレイン・ウェーデル (2050 Production タイ)

「テロリストの母たち」竹岡寛俊 (アマゾンラテルナ) 鈴木浩 (アマゾンラテルナ)

- ・優秀企画賞：4 企画

「娘に贈るピアノ教室」新田義貴(ユーラシアビジョン)塩原史子(塩原総合事務所)

「トーキョー・ノーフィルター」大西達也(フリーランス)鈴木裕子(日本ケーブルテレビジョン)

「スモッグ・ディレクター」ハン・メン (中国)

「踊るホームレス 路上の表現者たち」三浦渉 (東京ビデオセンター)、佐々木伸之 (東京ビデオセンター)

- ・Asian Side of the Doc 賞

「娘に贈るピアノ教室」新田善貴 (ユーラシアビジョン) 塩原史子 (塩原総合事務所)

- ・AIDC 賞

「A はAgustinのA」グレース・シンブラン (フィリピン) ソンギョ・パク (韓国)

- ・アジアドラマチック TV 賞

「双生花」関強 (オルタスジャパン) 申成皓 (オルタスジャパン)

- ・ショート・ドキュメンタリー・ショーケース 優秀作品賞 3 作品

「ビジネスマンラップ」(松井至・テムジン)

「東京クルド」(日向史有・ドキュメンタリージャパン)

「赤髪と日本舞踊」(濱地咲季・東京ビデオセンター)

- 『働き方改革』WOWOW 訪問 11月17日(金)

- 『働き方改』NHK 大阪訪問 11月21日(火)

2017年12月

- 『働き方改革』読売テレビ、朝日放送訪問 12月6日(水)
- 『働き方改革』 毎日放送、テレビ大阪、関西テレビ訪問 12月7日(木)
- TV CREATORS INTERNSHIP 2019

開催日：12月9日(土) 午前の部 10:30~13:00、午後の部 14:00~16:30

会場：スタンダード会議室 赤坂サイド店

参加者：81名 エントリー数：118名

2018年1月

- 第5回関西 ATP 賞&関西交流会

日時：1月23日(火) 18:00-20:00

会場：リッツカールトン大阪 ボールルーム イーストセントラル

来場者数：130名

来賓挨拶：喜多 隆(関西テレビ放送 取締役編成局長)

乾杯：角 英夫(NHK大阪放送局 局長)

審査委員長：森田道明(ジェイワークス代表取締役) ATP 関西センター長

審査委員：伊東宏明(メディアプルポ プロデューサー) ATP 関西センター 執行理事、

牛丸善弘(ブリッジ プロデューサー)、

影山貴彦(同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科 教授)、

古川綾子(国際日本文化研究センター特任助教・上方演芸研究家)

- 関西表敬訪問

1月23日(火) 毎日放送

1月24日(水) 関西テレビ放送、朝日放送、テレビ大阪、読売テレビ放送、NHK大阪放送局

- TV CREATORS INTERNSHIP 2019

開催日：1月20日(土) 午前の部 10:30~13:00、午後の部 14:00~16:30

会場：スタンダード会議室 赤坂サイド店

参加者：94名 エントリー数：94名

- 東京表敬訪問

1月31日(水) テレビ東京、TBS

2018年2月

- 東京表敬訪問

2月1日(木) フジテレビ、テレビ朝日

2月2日(金) 日本テレビ

2月7日(水) NHK

2月15日(木) WOWOW

- 第25回メディア委員会 2月5日(月) 17:30-20:30

場所：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 5階 小ホール

内容：番組製作会社が主導する国際共同製作とは

講師 今村研一氏(NHKエンタープライズ EP/Tokyo Docs アドバイザー)

「格闘ゲームに生きる」国際共同製作番組完成報告

報告 田嶋敦、佐々木伸之、合津貴雄(東京ビデオセンター)

- 企画開発ワークショップ 2月9日(金) 16:00-21:00

場所：スタンダード会議室 333 店 2F 会議室

内容：第 1 部 ディレクターは企画とどう出会い 実現するのか

報告 永田奈津子(テレコムスタッフ)

第 2 部 グループ・ブレインストーミング

参加：13 名

●ATP 新春交歓会 2018

日時：2018 年 2 月 6 日 (火) 18:30-20:00

会場：都市センターホテル 3F「コスモスホール」

出席者：ATP 会員社／135 名 会員社以外／151 名 合計 286 名

祝辞 奈良俊哉 (総務省大臣官房審議官)

木田幸紀 (日本放送協会 専務理事 放送総局長)

乾杯 足立久男 (日本民間放送連盟副会長)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2019

開催日：2 月 17 日 (土) 午前の部 10：30～13：00、午後の部 14：00～16：30

会場：スタンダード会議室 赤坂サイド店

参加者：103 名 エントリー数：129 名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2019

開催日：2 月 24 日 (土) 午前の部 10：30～13：00、午後の部 14：00～16：30

会場：スタンダード会議室 赤坂サイド店

参加者：97 名 エントリー数：123 名

2018 年 3 月

●企画開発ワークショップ 3 月 12 日(月) 16:00-21:00

場所：スタンダード会議室 333 店 2F 会議室

●TV CREATORS FES 2019 東京 ※ () 内は前年実績

開催日：3 月 23 日(金)～24 日 (土)

会場：秋葉原 UDX

参加者：1,002 名(945 名) 23 日 490 名／24 日 512 名

エントリー数：1,263 名(1,643 名) 23 日 630 名／24 日 633 名

参加会社：48 社(48 社)

【その他】

1. 総会

●第 5 回通常総会 (決算総会)

日時：2017 年 6 月 24 日 (金) 15:30-16:30

場所：日本消防会館 (ニッショーホール) 5 階 大会議室

議案：

第 1 号議案 2016 年度事業報告 (案) 第 2 号議案 2016 年度決算報告 (案)

第 3 号議案 2017 年度事業計画 (案) 第 4 号議案 2017 年度収支予算 (案)

2. 理事会

2017 年度の理事会は、全 6 回開催しました。

●第 27 回定例理事会 5 月 26 日(金)

2016 年度事業報告書 (案)、及び決算書 (案) について 承認

ATP 賞特別賞（推薦枠）について 承認

●第 28 回定例理事会 6 月 30 日(金)

働き方改革に関する ATP アンケートについて

日本脚本家連盟 再放送使用料改訂（案）意見聴取について

●第 29 回定例理事会 9 月 29 日(金)

日本脚本家連盟 再放送使用料改訂（案）ATP 回答について 承認

第 34 回 ATP 賞募集要項改訂について 承認

就職フェス呼称の変更について 承認

新規会員社 ㈱エム・ケイ・ツー 承認

●第 30 回定例理事会 11 月 24 日(金)

働き方改革 各局訪問報告

●第 31 回定例理事会 1 月 26 日(金)

新規会員社 ㈱メディアワン 承認

●第 32 回定例理事会 3 月 27 日(金)

2018 年度 事業計画書（案） 予算書（案）について 承認

3. 入退会

●入会

株式会社大河プロダクション(4 月)

株式会社エム・ケイ・ツー (10 月)

株式会社メディア・ワン(2018 年 2 月)

●退会

株式会社フォーミュレーション(2018 年 3 月)

株式会社文化工房(2018 年 3 月)

以上